令和7年度事業計画書

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

令和 7 年度の事業活動は、令和 4 年 6 月 1 日に改正した定款に基づき、令和 5 年度に新たに選任した役員による組織体制にて、事業活動を定着させ推進する年度となる。
令和7年度は、急激な国際社会の変動を確実に捉え、新しい潮流を敏速に取得し本会の公益事業に反映する。併せて、不特定多数の国民のために、定款第4条に掲げる公益社団法人としての事業活動を余すところなく実行する。
本会の会員が、JATETの存在意義と会員である事を実感し、誇負できる公益活動を活発に行うとともに、本会の活動を積極的に全国に向けて訴求する体制を強化する。
令和 7 年度に実施する具体的な事業計画は次の通りとする。

1．会議

1）総会

令和7年5月30日（金）エッサム神田会議室に於いて開催予定。
協会の最高機関として、定款第 52 条(事業報告及び収支決算)に則り令和 6 年度事業報告、収支決算報告に関する承認決議を行う。また、第 51 条(事業計画及び収支予算)に則り令和 7 年度事業計画、収支予算書の報告を行う。

2）理事会

定例理事会を年4回開催し、協会運営に関する重要事項を審議し、業務の執行を決議する。

2．委員会

1)事業執行連絡委員会

定款第58条（委員会）に則り、理事会の諮問機関として、執行理事及び部会長で構成される事業執行連絡委員会を毎月1回、年12回開催する。年間事業計画に基づき理事会で承認した事業を執行し、理事会と部会の緊密な連絡を諮る。

3．各部会事業計画

令和7年度における所属各部会の主たる事業計画は次の通りである。

1） 教育研修部会

劇場、文化施設の繁栄に努め、公益社団法人として社会貢献できるように取り組む。

［事業計画］
(1) 部会を原則月１回開催し、新設、改修された劇場、施設の情報を収集する。
(2) 新設、改修された劇場・ホール及び、次世代の演出空間のトレンドを研究すべく、建設計画著しいアリーナ施設やスポーツエンタメ施設についても着目し、年４件の施設見学会の企画運営とジャーナルの取材発行を行い、広く皆様へ紹介できるよう活動を進める。

〈見学会検討施設〉
・石巻市複合文化施設
・茨木市民会館
・磐田市文化会館
・東京ガーデンシアター

〈ジャーナル検討施設〉
・水戸市民会館（24年1月31日見学会開催）
・小田原三の丸ホール（24年2月22日見学会開催）
・平塚文化芸術ホール（25年1月29日見学会開催）
・世田谷区民会館（25年3月12日見学会開催予定）

・福岡市民会館（25年5月見学会開催予定）

2）建築部会

部会を原則月1回開催し、次に掲げる調査研究を実施する。

調査研究

（1）劇場・ホールにおける各部計画のガイドライン作成(R4年度からの継続)

・昨年度は客席に関する建築基準法や消防法に係る各条例や指針等を研究し、課題点を洗い出した。
・劇場・ホールのガイドラインの先進事例としてイギリスで編纂されたガイドラインの項目や内容について、勉強会を実施し検証した。
・しかし、ガイドラインの策定には至らなかったことが課題として残った。
・今年度は、具体的なガイドラインの策定を開始し、明確な成果を出す。

3）機構部会

部会を月１回開催し、以下の活動を行う（3 月、8 月を除く）。必要により研究会を行う。

(1) ライトブリッジ形状の調査・研究
ライトブリッジ形状の種類・用途について調査・研究を行う。
(2) 点吊装置型劇場についての調査・研究
吊物装置において従来の配列固定式と点吊装置による任意設置式について調査・比較・研究を行う。
(3) 海外及び国内の施設・工場見学
海外及び国内のメーカーの工場等を見学し、未来の機構を研究する。
(4) その他の事業において機構分野の分担・協力をする。

4）照明部会

部会を隔月1回開催し、以下の活動を行う。

(1) 【継続：JATET-L-7190 の改正作業】
JATET-L-7190規格の改定作業を引き続き実施する。
令和５年度からの継続活動であり、令和６年度は照明器具、調光卓、調光盤のチェックリスト項目の確認と見直しを実施した。活動の中で、「使用者の安心安全」「安心安全とは不安全項目以外に「安心して講演ができること」を含んだ視点も必要である、予防保全でありメーカーの保守とは考え方を変える、などの議論も進め、規格の位置づけや意義について話もしてきた。
この規格の改定意義を意識しながら、他の章についても内容の確認と見直しを行っていく。
令和７年度で、L-7190の全体見直しを終え、令和８年度での発刊を目標として活動していく。
(2) 【継続：表示内容の定義と統一】
令和６年度に単色スポットライトの表示統一についてまとめることができた。この内容については、JATETフォーラム24/25で発表も実施した。令和７年度は、この内容を企画として発刊する。発刊後の次のテーマについては、単色に引き続き、カラースポットライトについての表示統一を進めるか、もしくはハロゲンスポットライトとLEDスポットライトの明るさ表示のギャップを埋める内容について検討を進めるかなど、複数の案が出ているため、規格発刊後に研究会にて相談のうえテーマを決定し推進していく。
この活動は、演出空間用LED照明器具表示規格委員会にて実施する。
(3) 【継続：照明設備に関するEMCの調査研究】
JATETフォーラム24/25にて、ピンスポットのイグナイタの放射ノイズおよび電源投入時の伝導ノイズ、トランシーバーによる放射ノイズの実験結果の報告を行った。この内容について、他の部会が興味を示し、IPインカムに与えるノイズの影響の実験をしたいというお話をいただいた。そこで、他部会の協力を得ながら、次なる実験計画を検討し、実施していくこととする。
この活動は、演出空間用照明機器におけるEMC（電磁干渉等）調査研究会にて実施する。

5）音響部会

部会を隔月1回開催し、以下の活動を行う。

音響設備に関する最新かつ有用な情報を幅広く収集し、JATET規格として取り纏める。また、その内容をJATET誌等において発表する。

(1) 電源電圧の違いによるパワーアンプ出力信号への影響と漏れ電流についての調査研究
配電方式が単相3線式100V/200Vのとき、パワーアンプを100V、200V駆動した時の出力信号を計測し、その特性を評価、新たな実験項目を洗い出し次なる実験へとつなげる。
(2) 音響電源200V使用時に安全に運用できるコネクタについての調査研究
音響電源200V使用時の安全性、汎用性の高い電源コネクタを調査・選定し、劇場等演出空間用推奨コネクタとして推奨するとともに“JATET-S-2050　移動及び持込音響機器における音響電源設備の安全基準”の改訂を進める為、実験等によりエビデンスを明らかにしていく。
(3) 舞台連絡設備研究会
舞台連絡設備指針改定版の啓蒙に努めるべく、セミナーを開催し周知を図る。
(4) マルチメディアIP伝送関連の調査
Dante、などMoIP伝送規格最新情報の調査を引き続き行う。
Danteについて、Audinate社より発表されたDanteAVのプロトコルが劇場・ホールにおいてどのように活用可能か調べるべく、勉強会を開催する。

6) 映像部会

部会及び研究会は、メンバーの活発なディスカッションにより、情報共有を深めるため月1回程度を目標に開催し、関連情報の収集を行い舞台演出／運営での有効活用と安全な運用を取り纏め、情報発信及び他部門との相互連携を行い活動する。

以下の研究テーマを中心に、最新動向の調査および研究会を実施する。
「研究会テーマ」
① 劇場メディアの拡張性について　　(部会を超えたテーマで調査し、他部会と共同研究を行う)
② 劇場映像装置について　　(その役割、機能、効果等、調査研究を行う)
③ 映像演出機器について　　(劇場に持ち込まれる機器等、調査研究を行う)

・それぞれのテーマに沿って、研究員を募り研究会を発足する。
・それぞれのテーマに沿って、専門分野の講師を招いて研究会を開催する。
・それぞれのテーマに沿って、該当する施設や企業、展示会等を見学し知見を深める。

・JATETフォーラム／技術展で、それぞれの研究成果を発表する。

7) 広報部会

部会を隔月1回開催し、以下の活動を行う。

(1) JATETとその活動についての情報発信を図る。
JATETの持つ多くの劇場演出空間についての情報や人的資源を、広く社会のために資するための広報活動を展開し、社会のニーズを調査し、JATETとその活動範囲の拡大と活性化を図る。
JATETリーフレット（WEB版）の改訂を行う。またWEB上において英語版のJATET紹介を作成する。
(2) JATET全体での事業について、広報分野を担当し協力する。
JATETの重要な広報媒体であるJATET誌の編集に際して、その内容がより読みやすくかつ魅力的なものであるよう、基本方針を検討作成し、編集担当部会と協力を行う。また、JATET主催行事の運営に協力する。
(3) JATET誌・編集方針、内容、誌面構成等について検討し、方向性を探る。
一部の記事については当部会で記事を作成する。
(4) Webサイトの検討
Webサイトの更新について協力し構成を検討する。
(5) 新会員の勧誘
減少傾向にある会員数を鑑み、対外アピールをしていく中で、組織、活動、特典を魅力的に見せる検討を行う。

4. JATET フォーラム

令和 6 年度は、JATET フォーラム 2024/25 を、令和 7 年 2 月 14 日に全電通労働会館にて開催した。
令和 7 年度は、昨年度に続き JATET フォーラム 2025/26 を開催予定である。

5. 国際交流

定款第 4 条（事業）第 6 項「内外関連機関・団体等との交流」に基づき、OISTAT（劇場芸術国際組織）日本センター及び韓国産業技術試験院（KTL）との交流、連携をより一層強化する。各国の状況を注視しながら、アジア 5 機関（韓国・中国・台湾・シンガポール・日本）による“Asia Entertainment Safety Alliance, AESA”「アジア・エンターテイメント・安全協議会」への参画を通じて、アジア諸国との交流を推進していく。

6. 国内交流

定款第4条（事業）第6項「内外関連機関・団体等との交流」に基づき、劇場演出空間施設とこれに関連する設備･機器の安全確保と技術の向上に関する関連機関・団体等との交流を促進する。

7. 発刊物

1）機関誌JATET

機関誌JATETは年2回の発行を基本としていたが、部会報告などの正確性を確保するために、従来2月末を目標に発行してきたものを、新年度4月初旬に発行する方針に変更した。これにより令和7年度は1号の発行とし、JATETが創立以来行ってきた事業や研究成果を広く社会に訴求する。
また、各部会で研究、調査している最新技術や最新情報を広く社会に紹介する。

2）JATETジャーナル

JATETジャーナルは教育研修部会が実施する劇場施設見学会と連動し、ホームページ上で公開している。最新の劇場演出空間及びリニューアルされた劇場演出空間を広く全国に紹介する。

3）JATETニュース

JATETニュースは、最新のJATET情報や関連団体の活動を速報として、毎月1回を基本にメールマガジンとして発行する。

4）JATET リーフレット

公益法人としての JATET の設立意義とその活動について広く社会に周知し、より多くの会員を獲得するため広報部会が作成し協会のホームページ上で公開した JATET リーフレット（WEB 版）の改訂を行う。

以上